

韓国の国会議員たち13人が 島根県の竹島に不法上陸

日本の「超党派議員連盟」は 不法上陸した韓国の国会議員たち に公開質問状を送付

韓国の国会議員が我が国の竹島（島根県隠岐の島町）に上陸したことは「容認できない」として、「日本の領土を守るため行動する議員連盟」の新藤義孝会長（元総務大臣）らが、国会内で記者会見を開いた。

超党派の「日本の領土を守るため行動する議員連盟」は上陸した韓国の議員に対し、『竹島』が韓国領と主張する根拠を示すように求める『公開質問状』を公表した。

新藤氏は「韓国側はいつも一方的に『自分たちの島だ』と言うが、なぜそうなのか一つも説明がない。見解が違えば話し合うべきだ」と述べました。



韓国議員団が竹島上陸

韓国側に「竹島を領土だと主張する根拠」について回答を求める。

「公開質問状」の内容は

- ①「竹島は地理的に（韓国領の）鬱（ウル）陵（ルン）島（ド）の一部として認識されてきた」と主張する根拠は何か
- ②韓国領土であると証明する文献は何か
- ③日韓両国の国会議員が問題を話し合う連絡機関の設置を提案するが、同意するかなど。

【追記】

平成28年8月に韓国の国会議員が竹島に上陸した際も超党派の「日本の領土を守るため行動する議員連盟」は公開質問状を送付したが、誰一人回答がない。

新藤義孝会長は記者会見で「政府間で正式な議論の場を作れないなら、国会議員同士で作ろうと提案していきたい」と述べた。



竹島周辺の海上で万歳をする韓国の関係者ら